



**第73回国民体育大会  
水泳競技 競泳 第3位  
筑波大学（茨城県）3年生**

**平田 茉穂さん**（津山市出身）

平成30年9月15日に福井県で開催された第73回国民体育大会水泳競技競泳成年女子100メートルバタフライで、自身が持つ中国記録を更新する59.18秒を記録し、2年連続3位入賞を果たす。21歳。



**水泳を始めたきっかけは？**

3歳のころ、風呂の水を怖がっていたわたしを見兼ねた両親が、スイミングスクールに連れて行き、水泳を習い始めたことがきっかけです。始めのころはなかなか水に慣れることができず、しばらくはコーチの腕にしがみ付いていたそうです。

**水泳のどんなところが好きですか？**

水の中をクロールや平泳ぎ、バタフライなどいろいろな泳法で泳ぎ、自在に進む気持ち良さが魅力です。小学5年生の時、水泳の全国大会に出場して、みんなからとても褒められ、水泳に自信が持てるようになりました。このころから、水泳がとても好きになりました。

**国民体育大会2年連続3位になるまでの苦労は？**

高校3年生から大学1年生までは一生懸命練習しても良いタイムが出なかったのが、とても悩みました。コーチの勧めで、種目を自由形からバタフライに変更し、「勝つために何をすべきなのか」を常に考えるようになりました。トレーニングで広背筋や体幹を強化し、一つひとつ丁寧な動きで泳ぐことで、次第に、力まずに自然体で泳ぐことができるようになりました。理想的なフォームを手に入れたことが結果につながったのだと思います。

**津山の皆さんへメッセージを**

水泳を続けることができたのは、指導者や家族、友人など多くの人たちが支えてくれたおかげです。2020年に開催される東京オリンピックに出場できるようがんばりますので、これからも応援よろしくをお願いします。



全国国公立大学選手権水泳競技大会出場の様子



器具を使った体幹トレーニングに取り組む様子

「月って、なんで形が変わるん？」。ふいに、小学1年生の我が子から聞かれ、「太陽の光の当たり方が…」と、身振り手振りを交えて伝えましたが、きちんと伝わったかどうかは怪しい。頭の中が白紙の状態の子どもたちに、考え方や知識を授ける学校の先生って、本当にすごいなと実感した1コマでした。(W)

知人から作州黒の枝豆をいただきました。今まで食べていた枝豆は何だったの？と思ってしまっ程の粒の大きさと甘み。10月が旬の貴重な食材を最初は定番の塩ゆでにし、次は焼きで、最後は同じく特産の新ショウガと一緒に焼き揚げにしてみました。地域の恵みに乾杯！至福の時を過ごしました。(C)

寒くなったので、自宅の衣類や電化製品などを冬物に入れ替えました。すると、壊れた電化製品やスキー板、使えそうにない古いふとんなどが次々と出てきました。粗大ごみを津山圏域クリーンセンターに持って行き、片付いたと思っていたら、押し入れの奥から壊れた折りたたみ式の椅子を発見。やれやれ。(C)



編集・発行  
津山市総合企画部秘書広報室(〒780-8501 岡山県津山市山北520番地  
〒780-8501 岡山県津山市山北520番地

☎ 0868-32-2029  
☎ 0868-32-2152  
✉ kouhou@city.tsuyama.lg.jp

広報津山は、環境保護のため再生紙と植物性インキを使用しています。読み終えた後、リサイクル（資源）にご協力ください。

☆広報津山はホームページで閲覧できます  
<https://www.city.tsuyama.lg.jp/>



☆津山市のエンタメ情報はこちら  
<https://www.facebook.com/city.tsuyamakouhou/>

